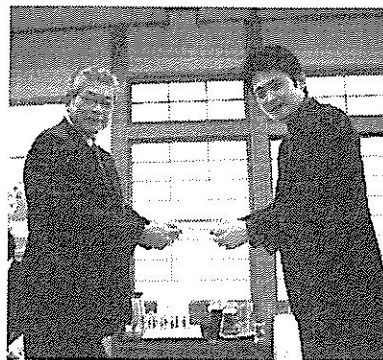


「おきなわ和牛」即売会、ニイチクが最優秀牛を購買



J A おきなわ、(株)ミートコンパニオン、(株)アグリス・ワン共催の第3回おきなわ和牛展示即売会が24日、36頭の高質牛を集めて埼玉県和光市内のアグリス・ワンで開催された。当日はちぎり方式による販売で、最優秀賞牛はkg3千円で(株)ニイチクが購買(写真左) J A おきなわ仲間常務・右ニイチクの桑名さん)するなどあつという間に全頭完売した。即売会でJ A おきなわの仲間常務は「3回目を迎えたが、肉牛生産は飼料高騰や素牛の高い時の出荷牛で大変な時期にある。こうした中、皆様のご協力で3回目を迎えた。購買者の意気込みに期待し、今後とも沖縄牛にご支援を」とあいさつ。次いでコンパニオンの阿部昌史社長が「沖縄と消費地を結ぶおきなわ和牛の認知活動の一環として3回目を迎える。今後とも産地と消費者を結びつける使命感を持って取り組みたい」と強い意欲を表明。J A の宮城直畜産部長が「おきなわ和牛ブランドの生産頭数は数年で3千頭も増加して8600頭。素牛産地では全国4番目となった」と紹介した。

優秀賞Ⅱ J A 全農ミートフーズ(株)・2800円、(株)西島畜産・同▽優良賞Ⅱムサシノミート(株)・2500円、(株)コーシン・同▽特別賞Ⅱ(株)東和食品・2400円、(株)ふじなわ・2300円。



林兼産業Gの歳暮ギフト展示会―霧島黒豚を軸に試食や実演交え

農場から食卓へ、「霧島黒豚」をギフトに贈ろう。林兼産業グループは23日、取引先やOBら関係者1500人を招き、山口県下関市の本社で恒例の「お歳暮ギフト展示会」を開催した。会場では独自ブランドの「霧島黒豚」を素材とするハムや精肉を中心に今シーズンのギフト全商品を一斉展示したほか、黒豚枝ハムの1頭丸ごと解体ショーや手作りウインナーの腸詰め実演など、グループ企業の特徴がひと目でわかる趣向を凝らした演出に。試食コーナーでは今シーズンの商戦から投入した霧島黒豚のすき焼きやグループ会社の林兼フーズが期間限定の受注生産で取り組む長期熟成のこだわりロースハム、クリスマスや年末年始向けのオードブル食材など複数のアイテムを試食に供し来場者の注目を集めた。なお安倍晋三元首相が会場に駆けつける一幕も。同氏は「これを機においしい食材を全国に発信して欲しい」と述べ、郷土企業の活躍にエールを送った。